

初の市民「アスベスト対策委」

11月13日 京都の建築労働者 13日に発足

建築資材などに使われている発がん性物質・アスベスト（石綿粉じん）の危険性を市民に知らせ、行政への対策を迫ろうと、京都の建築労働者が十三日に「京都アスベスト

対策委員会」を発足を告げる。アスベストは欧米では使用禁止などの動きが出ているが、日本では環境基準さえないなど対策が立ち遅れている。アスベストをめぐる市民レベルの運動は全国でも初めてとい

う。
メンバーは全京都建築労働組合（京建労）組合員の波多野弘さんら。

十三日の第一回委員会は午後七時半、京建労山科支部（向山科区柳辻東浦町二六）で開き、市民のアスベストの危険性を知らせる①使用実態の把握②国など行政への規制強化の動きかけ③メーカーへの代替製品の研究の動きかけ④などを決める。

同委員会の連絡先は波多野さん方（075・5002・9541）。